

活動報告

団体名	公益社団法人日本社会福祉士会
活動名	愛媛県大洲市の被災地住民の生活支援をするための活動
活動期間	2018年10月～2018年11月
活動の成果	<p>今回の豪雨災害で大洲市は 2,000 軒を超える住家の浸水、土砂崩れ等があった。このような状況で、地域包括支援センターは平時の業務の他、地域住民の安否確認や行き先のなくなった高齢者への対応、避難所におられる方、仮設へ移動した方の聞き取りなど多忙を極める。その一方で、普段は特に見回りが必要ではなくても、豪雨災害による浸水により 1 階が使用できず 2 階で生活せざるを得ない高齢者等もいる。今回の本会の支援はそのような気になる方への見回り訪問も可能とした効果は大きいと考える。緊急度のスクリーニングを行い、地域住民の「見える化」を行ったことは地域包括支援センター業務への支援となり、地域住民の在宅生活の継続の一助となったと考える。</p> <p>具体的な支援対象者は大洲市の集落に在住する高齢者等で、10月4日から11月30日（58日間）にかけて毎日約10世帯を戸別訪問し聞き取り調査を行った。聞き取り対象者は約500人、延べ約1000人程度の戸別訪問を行った。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>日本社会福祉士会は被災地の高齢者等地域住民を支援するため、その基盤となる機関である地域包括支援センターを支援するために、ソーシャルワーク専門職である社会福祉士を全国規模で募集し2ヶ月間にわたり継続的な支援を行ってまいりました。</p> <p>これらのためには多大な経費がかかり、いただいた寄附金を有効に活用させていただきました。現地の地域包括支援センターからの要請にもとづき行った今回の支援活動は、地域住民の在宅生活を継続するために役立ったことと思います。これも寄附金をいただいたおかげと感謝申し上げます。</p>

(活動のようす)



